

しおさい



津軽海峡と野牛川を真赤に染める晩秋の夕日

CONTENTS

- 特集記事 シリーズ㊸ ふるさと見聞録: ^{のうし}野牛を訪ねて……………2
- 明日へのかけはし: しもきたマルシェの会……………4
- クローズアップ ^{すぎもと ひさし}こんにちは元気さん: 杉本 尚さん……………4
- ファイト!わんぱく: 東通小学校野球部……………5
- 地元の特派員レポート: ^{こやま きつぺい}小山 桔平君 / ^{まて つとむ}真手 奨さん……………6



江戸時代から砂鉄製錬が盛ん!

のうし

野牛を訪ねて

おいしい水に恵まれ、穏やかな人々が暮らす地域！

東通村の津軽海峡寄りの山間部、野牛川沿いの盆地の裾野に広がる集落が野牛地区です。地名の由来は、アイヌ語の「ぬうし」。“魚の多い入江”という意味です。人々はその昔、縄文遺跡のある吹切沢から、川の水を求めて現在の場所に移転したと伝えられています。

自然災害の少ない地域ですが、江戸時代に2回、近年では1888年(明治21年)と1901年(明治34年)、大火に見舞われました。1986年(昭和61年)には、集落のバイパス道路「古野牛川野牛線」が完成し、交通の利便性が向上しました。

江戸時代から砂鉄製錬が盛んで、南部藩の鉄吹き場みずがみやまおんてつやま「水上山御鉄山」として砂鉄の製錬を行い、今も辺りには鉄屑が残されています。大正時代になると、陸軍用鉄研究工場が建設され、猿ヶ森地区の石炭を燃料に大量の鉄を製錬。野牛川から船積みしたそうです。1960年(昭和35年)から1966年(昭和41年)には、日曹砂鉄鉱業株式会社野牛鉱業所が砂鉄の採掘を行なっていました。他の企業も創業を開始し、砂鉄産業の最盛期には地区の大きな収入源となっていました。

牧畜も活発で、明治時代には地区内で184頭の牛(日本短角種)を育てていました。現在は繁殖農家が4軒。野牛地区に村営牧場があり、畜産公社に預託し黒毛和種を育てています。

大正時代の初めには精力的に米作りが行われており、



サケも遡上するきれいな野牛川

当時は野牛川本流の両側に田んぼが広がっていたそうです。今は、米作りを行うのは1軒のみで、農業の中心は東通そばや馬鈴薯です。

地区の最大の特徴は、住民のチームワークの素晴らしさ。互いに助け合い、協力し合って何事にも取り組んでできました。これまで村長を3人輩出しているのも自慢のひとつです。

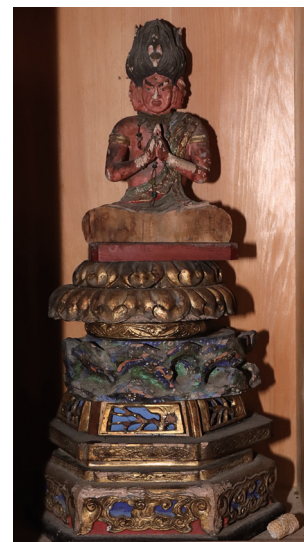

 集落の活動として
 地区のシンボルの大杉

は、地区会の道路清掃、氏子による神社の祭りのほか、青年会では能舞伝承や正月の門打ちを行っています。ご年配の女性方は月に一度、観音堂をお参りしています。

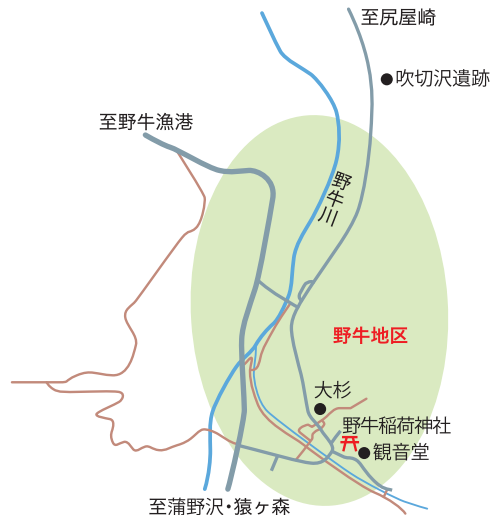
地区内のあちこちから清らかな水が湧き、穏やかな気候、牧歌的な風景が魅力です。



觀音堂



観音堂に祀られている仏像





野牛地区



村内で三番目に古い歴史の 野牛稲荷神社

集落を見下ろす場所にある「野牛稲荷神社」は、野牛地区の守り神です。1624年(寛永元年)江戸時代の建立で、東通



野牛稲荷神社

村で3番目に古い歴史を持ち、裕福な地域であったことを物語っています。

元々は階段の中段に茅葺のお宮が建立されて

いましたが、1901年(明治34年)の火災で焼失してしまいました。宵宮での火災だったことから、野牛地区の祭りは本祭のみで、宵宮は今も行われていません。

現在の社殿は、1927年(昭和2年)に建立されたもので、目名の神社と造りがよく似ているそうです。観音堂には、蒼前社、観音様、愛染明王が祀られています。

毎年9月16日には祭りが行われ、むつ市田名部神社の宮司が祝詞をあげて祈祷し、氏子総代や地区会、青年会が総出で「祈祷舞」を奉納しています。



かわしま たかし
野牛地区 会長 川島 高司さん(73歳)

野牛地区は、世帯数32戸、人口73人。古くから落ち着いた雰囲気集落です。

まとまりがあり、心優しい人たちがばかりで、共に協力し合い地域づくりを進めてきました。年々少子化は進んでいますが、地区の誰もが、いつまでも楽しく、悠々自適に生活して欲しいと願っています。

少ない人数で能舞は思うようにできませんが、来年は「門打ち」から始め、伝承し続けていきたいです。

野牛は、地区内4カ所から湧き水が湧く水のおいしい地域。だから料理も旨いんです。仕事のために一度は地区を離れても、また帰って来たい!と思えるような集落にしたいと思っています。



野牛青年会長
第10分団長
えちせんせんいちろう
越善専一郎さん(58歳)

農業一筋で、今も地区でただ一人、米作りを行っています。共済組合では収穫した米の検見(けんみ)をしたり、広報活動を行っています。米を作る人が減っているのはとても残念なことですが、野牛地区は、住んでいる人が穏やかで人柄もよく、なんでも話し合いまとまっている、いいところです。



青森県農業共済組合下北支所
農済部長
たけかわいじろう
竹川岩次郎さん(84歳)



東通村の頑張るグループを紹介 地域の賑わいを創出したい！ [しもきたマルシェの会]

東通村役場庁舎前で今年の夏から開催している「しもきたマルシェ ミニミニ移動販売」。運営しているのは、「しもきたマルシェの会」の皆さんです。

今から4年前「下北に、農業や漁業を営む若手生産者のための売り場がない。ならば自分たちで売り場を作り出そう」と有志5人が集結。下北地域県民局の協力を得て、産直市「しもきたマルシェ」をむつ市の「ミルク工房ボン・サーブ」の前でスタートしました。

今年は自前で事業を展開するため「しもきたマルシェの会」を結成。現在は、東通村をはじめ、むつ市、大間町、

佐井村、風間浦村の23店が会員となり、バラエティに富んだ農産物や水産物、加工品などを販売しています。

役場前で開催している「ミニミニ移動販売」は、子育て世代のお母さんからの要望によりスタート。夕食の「あと一品」のお手伝いができればと、そばや惣菜など家庭の味を中心に販売し大人気です。

東通村で祖父母が営むイチゴ作りの跡を継ぎ、養蜂にも挑戦している濱田



しもきたマルシェの会の皆さん(左/濱田裕子会長) 裕子会長は「地元の方に新鮮な食材やお惣菜などを味わってもらい、地産地消を実現したい。運営は大変ですが、地元の企業にサポーターになってもらったり、地元の子どもたちにマルシェで歌や踊りを発表してもらったり、もっとイベントを充実させ、地域の賑わいを生み出していきたい」と話していました。



役場庁舎前で開催している「しもきたマルシェ ミニミニ移動販売」



東通村の特産品を使った惣菜がいろいろ！



10月10日にボン・サーブで開催された「しもきたマルシェ」

村内で元気に活動する人を紹介！



そこだてあみりょう
こだわりの底建網漁で
多種多様な魚を獲る！

すぎもと ひさし
杉本 尚さん(49歳)

漁師の3代目として兄弟で船に乗り、石持漁協で底建網漁を行う杉本尚さんにお話を伺いました。

東通村稲崎地区で生まれた杉本さんは、子どもの頃から漁が好きで、青森県水産修練所を卒業と同時に、父親が営む底建網の漁師になりました。

底建網漁は、海底に筒状の網を仕掛けて魚を呼び込み、入った魚を定期的に水揚げします。春は、ヤリイカ、カワハギ、タコ、ヒラメ。秋は、ヒラメ、カワ



漁を終えて石持漁港へ寄港



水揚げ作業



水揚げしたヒラメ

ハギ、ブリ、イナダ。冬はタコなど多種多様。過去には「75kgのイシナギや、クルマエビ、シャコ、オオカミウオなどが獲れたこともある」と嬉しそうに話します。

初めは仕掛け網が7箇所でしたが、現在は10箇所を操業。「どうすれば網に魚がたくさん入るか、親父の網を自分なりに改良し設計図を書いていく。潮を逃がすためには細い網の方がいいけれど、魚をたくさん獲るにはそれでは通用しない。自分の設計した網で魚がたくさん入れば、本当におもしろいんだ」と杉本さん。

4歳年下の弟さんと乗り組む兄弟船は「気を使わないから楽なんです」と笑顔。元気の秘訣は筋トレというほ



ど、たくましい体が魅力的です。

「コロナ禍で魚の値段は下がっているが、自分の判断でたくさん魚が取れば、やっぱりおもしろい。今年は船のエンジンも新しくしたので、体が動かなくなるまで兄弟で力を合わせて頑張りたい」と話していました。



東通小学校野球部

あいさつをはじめ、練習でも試合でも、とにかく大きな声を出すエネルギーなチームが、東通小学校野球部です。

今年開催された「青森県少年軟式野球大会むつ支部予選大会Bブロック」では見事優勝し、県大会に出場しました。

部員は4年生から6年生までの27人。今年から、女子も3人入部し「男子に負けない!」と張り切っています。

練習は、毎週火曜日と木曜日の放課後、土曜日を中心に、グラウンドや屋内トレーニングルームで行っています。監督の西村翔太先生をはじめ、にしむら しょうた 時苗宏之先生、ときなえ ひろゆき 伊藤一継いとう かずつぐコーチらが熱心に指導し、父母らも力いっぱい応援しています。



バッティング練習



東通小学校野球部の皆さん

普段は、準備体操、ダッシュ、キャッチボール、ノック、バッティングを行ってから、試合形式の練習を行います。試合が近くなると、次に起こりそうなプレーを予測して声を掛け合って練習するなど、しっかりと試合に備えます。試合では、出場する選手も控えの選手も、一人ひとりが自分の役割を全うします。負けている時でも声を出し合い、負けている雰囲気を出さない、チームワークの良さや粘り強さがチームの特徴です。

6年生で部長のはなべ ゆうしん花部優真君は「試合は勝てばうれしいし、練習はキツくても楽しい。今年最後の下北地区の大会では全勝したい。6



入念にフォームをチェック

年生が引退しても、このチームの良さである大きな声を出して頑張りたい」と元気に答えてくれました。

監督の西村先生は「野球は、プレーの全てが生活に繋がっているスポーツ。野球を通じて、他者とのかわりや、まわりへ感謝する心を学んでほしい。また、試合に勝つ

ことで、努力すれば成果があらわれることを実感してほしい」とエールを送っていました。



試合形式の練習



部長
はなべ ゆうしん
花部 優真君
(6年)





東通村各地区の皆さまから心温まる情報をお届けします。

地元の特派員レポート

レポートは10月に作成し
写真は特派員が
自ら撮影したものです。



早掛 沼

東通村早掛平在住 こやま きつべい
東通小学校(6年) 小山 桔平君(12歳)

僕の住んでいる早掛平はむつ市と
大和の間にある集落で、東通小学校
まで通じている道路「稔りふれあい
ロード」があります。早掛平は「はやかけだい」が正式な呼び
方みたいですが、「はやがけたいら」と言ったり「はやがけ」と
略して呼ばれることもあります。

早掛平は「早掛沼」に面していま
す。もともとは農業用に水を集めた
「ため池」で、昭和の初め頃に造られ
たと父から教えてもらいました。僕が
生まれる前は、沼の端に線路があった
と聞いて、こんな家の近くに鉄道が走



稔りふれあいロード看板

っていたのかと
驚きました。今は
沼の側に「やさい
直売所」があっ
て、地元の人たち
が買い物をして賑わっています。



早掛沼

早掛沼の中心には、桜の名所として有名な早掛沼公園が
あって、春はとてもきれいです。また、沼は釣り人にも人気で
ブラックバスやワカサギが釣れるみたいです。でもマナーが
悪い人もいて、車を道路に止めたりゴミを残していくので地
域の人が困っているそうです。

僕はこの素晴らしい早掛沼を大
切にして、きれいな環境を守ってい
きたいと思います。みなさんも早掛
沼公園と稔りふれあいロードには
絶対にゴミを捨てないでください。



やさい直売所



「東通村鹿橋」の魅力

まて つとむ
東通村鹿橋在住 真手 奨さん(37歳)

私が生まれ育った鹿橋には、1989
年(平成元年)に国の重要無形民俗
文化財に指定された「能舞」がありま
す。東通村各地区に能舞は伝承され
ており、鹿橋地区では「鹿橋青年会」が伝承団体として現在
も受け継いでいます。

鹿橋地区は、村内の能舞の師匠地のひとつとされており、

下北各地区へ伝承活動も行ってい
ます。

能舞の歴史はとても古く、500
年以上前に伝承され、とても貴
重な文化や歴史に携わることが
できとても幸せを感じます。こん
な素晴らしい歴史や文化を終わ
らせるわけにはいかないので、鹿



能舞「かねまき」

橋青年会では師匠皆様方のご協
力とご支援を頂きながら、会員が
一丸となり能舞の伝承活動をし
ています。最近、新型コロナウ
イルス感染拡大が懸念され本来
の活動は自粛傾向ですが、来年
は新型コロナウイルスの影響な
く正月行事ができることを願
いたいと思います。

また、鹿橋にはもう一つの見ど
ころがあり、それは東通村天然記
念物に登録されている「千年桂
の木」です。推定樹齢約300年以上とも言わ
れており、とても貴重な天然記念物です。千年
桂があるすぐ横に石神神社があり、昔から母
乳の神様と言い伝えがあります。母乳でお困りの方はぜひ
足を運んでみてはいかががでしょうか。とても小さな集落
「鹿橋」ですが、歴史と文化が溢れている素晴らしい場所
ですので、皆さんも遊びにいらしてください。



村の天然記念物「鹿橋の千年桂」



千年桂の隣にある石神様



東北電力(株)東通原子力発電所広報課

〒039-4293 青森県下北郡東通村大字白糠字前坂下34番4
TEL0175-46-2225・FAX0175-46-2227

しおさい、PSつうしんの
バックナンバーはこちら



誌名「しおさい」について

★東通村で絶えることなく聞こえる心地よい波の音(しおさい)のように、皆さまの心に
末長く心地よく響き続ける広報誌でありたいという思いを込めています。

編集後記

しおさい第25号、いかがでしたでしょうか。

「明日へのかけはし」で紹介しました「しもきたマルシェ ミニミニ移
動販売」にお邪魔してきました。会場では「あっ!今日は〇〇がある!」
など開催日ごとに異なるメニューを楽しみにしているリピーターの方
もいらっしゃり、地域の方々の関心の高さをうかがうことができました。
夕食の「あと一品」だけでなく、「一日のご褒美」や「晩酌のおつまみ」
にもぴったりなミニミニ移動販売、皆さまもぜひ足を運んでみてはいか
がでしょうか?(私はコロケとおでんを購入しました。どちらもとて
もおいしかったです!)

今後も、東通村の皆さまに親しまれる広報誌の作成に努めてまいります
ので、引き続きご愛読のほどよろしくお願いいたします。